

# 新・生物多様性国家戦略案（事務局案）

前 文	1
<b>第 1 部 生物多様性の現状と課題</b>	<b>5</b>
第 1 章 生物多様性の危機の構造	5
1 第 1 の危機	5
2 第 2 の危機	6
3 第 3 の危機	7
第 2 章 現状分析	9
第 1 節 社会経済状況の変化	9
1 主な社会経済の動向	9
2 国民意識、社会的意識の変化	10
第 2 節 世界における日本の生物多様性	12
1 世界の生物多様性の概観	12
2 日本の生物多様性の特徴	13
3 日本の自然環境特性と生物多様性	14
第 3 節 生物多様性の現状	19
1 生物種の現状	19
2 生態系の現状	26
第 4 節 生物多様性に関連する制度の現状	30
1 自然環境保全に係る地域指定制度の概要	30
2 各種保護地域制度等の現状	30
<b>第 2 部 生物多様性の保全及び持続可能な利用の理念と目標</b>	<b>32</b>
第 1 章 5 つの理念	32
1 人間生存の基盤	32
2 世代を越えた安全性・効率性の基礎	32
3 有用性の源泉	33
4 豊かな文化の根源	33
5 予防的順応的態度	34
第 2 章 目標とグランドデザイン	35
第 1 節 3 つの目標	35

第2節	国土空間における生物多様性のランドデザイン	36
<b>第3部</b>	<b>生物多様性の保全及び持続可能な利用の基本方針</b>	<b>38</b>
第1章	施策の基本的方向	38
第1節	3つの方向	38
1	保全の強化	38
2	自然再生	38
3	持続可能な利用	39
第2節	基本的視点	41
1	科学的認識	41
2	統合的アプローチ	41
3	知識の共有・参加	41
4	連携・共同	42
5	国際的認識	43
第3節	生物多様性からみた国土の捉え方	44
1	生物多様性からみた国土の構造的把握	44
2	植生自然度別の配慮事項	52
第2章	主要テーマ別の取扱方針	56
第1節	重要地域の保全と生態的ネットワーク形成	56
第2節	里地里山の保全と持続可能な利用	58
第3節	湿原・干潟等湿地の保全	63
第4節	自然の再生・修復	67
第5節	野生生物の保護管理	70
1	種の絶滅の回避	70
2	猛禽類保護への対応	71
3	海棲動物の保護と管理	72
4	野生鳥獣の科学的・計画的な個体群管理システムの確立	73
5	移入種（外来種）問題への対応	73
第6節	自然環境データの整備	76
第7節	効果的な保全手法等	81
1	効果的保全のための様々な手法の活用	81
2	環境アセスメントの充実	81
3	国際的取組	82

<b>第4部 具体的施策の展開</b> .....	87
第1章 国土の空間的特性・土地利用に応じた施策.....	87
第1節 森林・林業.....	89
基本的考え方	89
保全と持続可能な利用への取組	90
1 森林の有する多面的機能の発揮のための森林整備の推進に関する施策	90
2 森林によって供給される財とサービスの提供及び利用の確保に関する施策	99
3 国有林野における取組	100
第2節 農地・農業.....	110
1 基本的考え方	110
2 環境保全型農業の推進	111
3 環境に配慮した農業農村の整備	112
4 農村の環境の保全と利用	114
第3節 都市・公園緑地・道路.....	116
1 都市の現状認識と改善の方向	116
2 都市における生物多様性の確保の基本的考え方	116
3 緑地の保全・創出に係る総合的な計画の策定	117
4 緑地の保全・創出に係る諸施策の推進	118
5 緑の保全・創出に係る普及啓発等	127
6 下水道事業における生物多様性の保全への取組	128
第4節 河川・砂防・海岸.....	131
1 河川・砂防	131
2 海岸	148
第5節 港湾・海洋.....	152
1 港湾	152
2 海洋	155
第6節 漁業.....	160
1 基本的考え方	160
2 国際的な海洋生物資源の保全及び持続可能な利用	161
3 国内の海洋生物資源等の保全及び持続可能な利用	165
第7節 自然環境保全地域・自然公園.....	170
1 自然環境保全法に基づく各種制度	170
2 自然環境保全に関する地方公共団体独自の保護地域制度等	172
3 自然公園法に基づく各種制度	173
第8節 名勝・天然記念物.....	180

第2章 横断的施策	183
第1節 野生生物の保護と管理	183
1 絶滅のおそれのある種の保存	183
2 野生鳥獣の保護管理	185
3 移入種（外来種）等生態系への攪乱要因への対策	190
4 飼育栽培下における種の保存	193
第2節 生物資源の持続可能な利用	195
1 生物資源の持続可能な利用	195
2 遺伝資源の保存と提供	198
3 遺伝子組換え生物の利用における安全性確保	201
第3節 自然とのふれあい	205
1 基本的考え方	205
2 自然とのふれあいのための具体的施策	207
第4節 動物愛護・管理	216
第3章 基盤的施策	218
第1節 生物多様性に関する調査研究・情報整備	218
1 調査研究の推進	218
2 情報整備の推進	223
第2節 教育・学習、普及啓発及び人材育成	227
1 環境教育・環境学習	227
2 普及啓発	236
3 人材の育成	237
第3節 経済的措置等	239
1 経済的助成	239
2 経済的負担	243
3 その他の経済的措置等	245
第4節 国際的取組	247
1 生物多様性条約の下での取組	247
2 生物多様性関連諸条約との連携強化	249
3 国際的プログラムの推進	252
4 開発途上国への協力	258
<b>第5部 戦略の効果的実施</b>	<b>264</b>
第1節 実行体制と各主体の連携	265

第2節	各種計画との連携	267
第3節	戦略実施状況の点検と戦略の見直し	267